

MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

Stregodon miensis

2024 Annual schedule



ブローチ「楓」 ミキモト真珠島 真珠博物館蔵

開館10周年記念・第36回企画展

パール 海の宝石、神秘の輝き

4月20日(土)～6月16日(日)

三重県総合博物館開館10周年の幕開けを飾る春の展覧会には、三重ブランドにも認定されている真珠について取り上げます。古代から現代にいたるまで人々を魅了してきた真珠。きらびやかさや神秘さを人々がどのように作り上げ加工し愛でていたのでしょうか。三重県をはじめ全国、そして世界各国で採取された天然真珠のその魅力と歴史を、出土品や宝飾品、献上品、養殖真珠を用いたジュエリーなどを通じてさまざまな角度から紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円)
学生：480円(380円)
高校生以下無料

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)



チョウの色と形の多様性

開館10周年記念・第37回企画展

標本 あつめる・のこす・しらべる・つたえる

7月6日(土)～9月16日(月・祝)

開館10周年の夏は、わくわくするような昆虫・化石・岩石や鉱物・動物・植物など、当館のたくさんの自然史標本を大公開します！博物館がたくさんの標本を集めるのはなぜ？どうやって集めるの？標本から何がわかるの？そんな疑問にもお答えします。当館の前身である三重県立博物館時代から集め、保存してきた「標本」の数々とそのすばらしさ、また展示を見るだけではない、博物館の真の姿を紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円)
学生：480円(380円)
高校生以下無料

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)



脇差 銘(表)濃州御勝山麓藤原永貞
(裏)於伊勢田丸作之 萬延元年九月日
江戸時代末期 個人蔵

開館10周年記念・第38回企画展

刀剣 三重の刀とその刀工

10月5日(土)～12月1日(日)

かつて「武士の魂」とまで称された刀剣は、熱田神宮のご神体である「草薙の剣」のように神が宿る神聖なものとして、また刀工によって鍛え上げられ、そして研ぎすまされた美しさは、日本を代表する美術工芸品の一つとして、我が国の伝統文化を支えてきました。三重においては、桑名の村正を筆頭に南北朝時代の終わりから室町時代にかけて、各地で刀工が活躍し、多くの作品を世に送り出してきました。そこで今回の企画展では、三重県ゆかりの刀剣に焦点をあて、その作品や刀工の存在を紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：1,000円(800円)
学生：600円(480円)
高校生以下無料

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,200円(960円)
学生セット券：720円(570円)

開館10周年・三重県総合文化センター開館30周年・中京テレビ開局55周年記念特別展・第39回企画展

金曜ロードショーとジブリ展

2025年2月上旬～4月上旬(予定)

スタジオジブリは、高畑勲監督(伊勢市出身)や宮崎駿監督らの作品を中心に、数々の優れたアニメーション映画を世に送り出してきました。その作品が多くの人に愛されるきっかけを作り、ともに育んできたのが日本テレビの映画番組「金曜ロードショー」です。本展では、「金曜ロードショー」の歩みをたどりながら、ジブリ作品の魅力や時代の記憶と記録を通じて体感できます。会場では、これまで語られなかった作品の秘密が明かされるほか、作品の世界に飛び込めるようなさまざまな空間が登場します。

【料金】
詳細は公式HPでご確認ください。
※年間パスポートはご利用いただけませんので、予めご了承ください。



©Studio Ghibli

◆三重の実物図鑑 特集展示 ※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

戦争と三重

7月20日(土)～8月25日(日)
当館が所蔵する戦争関連資料の中から、雲井コレクションを中心に当時の国民生活がわかる資料を紹介します。今回は物資不足を補うための代用品を取り上げます。



紙製のランドセル

ミニ館蔵品展

10月26日(土)～11月24日(日)
当館では、開館以来、三重県の歴史・文化に関する資料を多数収集、収蔵しています。今回はその中から、県内の刀工作の刀剣を中心に、火縄銃などの武器・武器類について紹介します。



火縄銃 銘 江州国友藤兵衛

2025年 新春展示

三重のへびたち
12月24日(火)～2025年1月19日(日)
巳年にちなみ、当館の収蔵資料から「巳(蛇)」に関連した資料を展示します。へびの標本のほか、蛇をかたどった郷土玩具など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を展示します。



ヤマカガシ

くらしの道具

2025年2月1日(土)～3月2日(日)
昭和のはじめ頃から現代にかけて、料理や洗濯、そうじといった家事で用いる道具を中心に紹介します。社会科で「くらしのうつりかわり」を学習する小学生も、道具の移り変わりとともに、生活が変化してきたことへの理解を深められる展示です。



お米を炊く道具

三重県埋蔵文化財センター 埋蔵文化財発掘調査速報展

2025年3月8日(土)～4月20日(日)
近年、三重県内で行われた発掘調査の成果を、遺跡の出土品、写真、解説パネルを通して紹介します。ふるさと三重の歴史解明につながる最新の調査成果に触れ、文化財のもつ本物の魅力を感じていただきたいと思えます。



津城跡から出土した安東焼の碗

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。



◆ホームページでMieMuを楽しもう
ご家庭や学校からでも MieMu を楽しめるページです。展示解説の動画のほか、小さいお子さまでも楽しく三重を学べるクイズや簡単な工作などたくさんのコンテンツを公開しています。

【おもなメニュー】

- 基本展示室展示ガイド
- お伊勢参り道中すごろく
- ぬってみよう！
- スペシャル動画コーナー
- 学芸員の紹介
- MieMu テーマ曲



上記のQRコードからアクセスできます

利用案内 ●開館時間

- 交流創造エリア 午前9時～午後5時(無料)
- 展示エリア 午前9時～午後5時(最終入場は、閉場30分前まで)
*開館時間を変更する場合があります。
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日
- 観覧料
基本展示 一般520円(410円)、学生310円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。
年間パスポート 一般1,670円 学生1,040円
*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等の交付を受けている方およびその介護者1名の観覧は無料です。*特別展は公式HP参照
*毎月第3日曜日は家庭の日で、団体料金でご覧いただけます。*特別展を除く

交通案内

- 津駅まで
【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分
津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道) 西口下車
●津駅(西口)から
【バス】三重交通バス 総合文化センター行き または夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
【徒歩】約25分
●お車で
【自動車/観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約20分
駐車場約1,400台 *総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu みえむ 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan
三重県津市一身上津部田3060 〒514-0061
3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan
tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>
X(旧twitter) @mie_pref_museum
facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>
Instagram <https://www.instagram.com/miemu2014/>
YouTube <http://www.youtube.com/@MieMu>

「講座など」・「フィールドワーク」は下記のご案内をご覧ください。

	企画展示室 (3F)	三重の実物図鑑 (3F)	講座など	フィールドワーク
2024 4	<p>開館 10 周年記念・第 36 回企画展</p> <h3>パール 海の宝石、神秘の輝き</h3> <p>4月20日(土)～6月16日(日)</p> <p><関連事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 5/12(日) 学芸員による展示資料ミニレクチャー 19(日) 記念講演会「人と真珠そのかわり考える」 26(日) 学芸員による展示資料ミニレクチャー 		<ul style="list-style-type: none"> 13(土) さんちゃんのお食事会 21(日) MieMu の日 // わくわくワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 6(土) 学芸員のフィールドさんぽ「サクラと新緑の林」
5	 <p>帯留「桜」 ミキモト真珠島 真珠博物館蔵</p>		<ul style="list-style-type: none"> 5(日) わくわくワークショップ 11(土) 学芸員フリートーク「真珠あれこれ」 // さんちゃんのお食事会 12(日) 館長講座ワークショップ「ウシとライオンはどこが違う？」 	<ul style="list-style-type: none"> 4(土) 学芸員のフィールドさんぽ「春の原っぱ」
6	<ul style="list-style-type: none"> 6/9(日) 学芸員による展示資料ミニレクチャー 15(土) 記念講演会「クラフトマンからみる真珠装飾」 		<ul style="list-style-type: none"> 8(土) 基本展示スポットガイド「山のくらし」 // さんちゃんのお食事会 16(日) わくわくワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 1(土) 学芸員のフィールドさんぽ「初夏の昆虫たち」
7	<p>開館 10 周年記念・第 37 回企画展</p> <h3>標本 あつめる・のこす・しらべる・つたえる</h3> <p>7月6日(土)～9月16日(月・祝)</p> <p><関連事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 7/6(土) ギャラリートーク 7(日)・14(日) 博物館で標本づくり「植物」 20(土) 博物館で標本づくり「化石レプリカ」 21(日) 企画展示スポットガイド「昆虫」 27(土) 博物館で標本づくり「貝類」 28(日) 企画展示スポットガイド「魚貝類」 8/3(土) 企画展示スポットガイド「古生物」 17(土) 企画展示スポットガイド「岩石・鉱物」 24(土) 博物館で標本づくり「鳥の翼」 25(日) 企画展示スポットガイド「植物」 31(土) 企画展示スポットガイド「さわれる標本」 	<p>戦争と三重</p> <p>7月20日(土)～8月25日(日)</p>  <p>陶器製アイロン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 13(土) 学芸員フリートーク「石の形や模様はいろいろ」 // さんちゃんのお食事会 14(日) 館長講座「宇宙からわが街を見てみよう」 21(日) わくわくワークショップ 	
8	<ul style="list-style-type: none"> 9/1(日) 企画展示スポットガイド「ほ乳類」 8(日)・15(日) 博物館で標本づくり「昆虫」 16(月・祝) ギャラリートーク 		<ul style="list-style-type: none"> 14(土) 学芸員フリートーク「標本にまつわるエトセトラ」 // さんちゃんのお食事会 15(日) わくわくワークショップ // 館長講座「牛肉が食卓に届くまで」 	
9	 <p>ヒバクロサウルス全身骨格標本</p>		<ul style="list-style-type: none"> 12(土) 基本展示スポットガイド「中世伊勢の海運」 // さんちゃんのお食事会 20(日) わくわくワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 5(土) 学芸員のフィールドさんぽ「石棺・道標・石材」 20(日) 文化財探訪「鈴鹿市三日月をたずねて」
10	<p>開館 10 周年記念・第 38 回企画展</p> <h3>刀剣 三重の刀とその刀工</h3> <p>10月5日(土)～12月1日(日)</p> <p><関連事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 10/6(日) ギャラリートーク 14(月・祝) 初心者のための刀剣取扱講座 19(土) 日本刀相談会 20(日) ギャラリートーク 29(火) 日本刀相談会 11/3(日・祝) 記念講演会「三重の刀剣 ゆかりの刀とその刀工」 8(金) 日本刀相談会 10(日) ギャラリートーク 17(日) 日本刀相談会 23(土・祝) 初心者のための刀剣取扱講座 24(日) ギャラリートーク 	<p>ミニ館蔵品展</p> <p>10月26日(土)～11月24日(日)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 9(土) 学芸員フリートーク「ミュージアムフィールドのコケ」 // さんちゃんのお食事会 10(日) 館長講座ワークショップ「ウシとライオンはどこが違う？」 17(日) わくわくワークショップ 24(日) 三重の自然史研究を支える次世代育成講座(地学)1回目 	<ul style="list-style-type: none"> 2(土) 学芸員のフィールドさんぽ「ドングリと秋の生きもの」 30(土) 身近な冬鳥を観察しよう
11	 <p>短刀 銘 正真 室町時代 個人蔵</p>	<p>協差 銘 河内守国助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1(日) 三重の自然史研究を支える次世代育成講座(地学)2回目 21(土) 基本展示スポットガイド「伊勢湾の鳥」 22(日) 正月かざりをつくろう 	
12			<p>2025 新春展示</p> <h3>三重のへびたち</h3> <p>12月24日(火)～1月19日(日)</p>  <p>郷土玩具(伊勢の蛇)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 11(土) 学芸員フリートーク「三重の仏像 鎌倉時代以降」 // さんちゃんのお食事会 12(日) 館長講座「宇宙からわが街を見てみよう」
2025 1			<ul style="list-style-type: none"> 8(土) 基本展示スポットガイド「伊勢みやげ」 // さんちゃんのお食事会 	
2	<p>金曜ロードショーとジブリ展</p> <p>2月上旬～4月上旬(予定)</p>  <p>東京展会場の様子 ©Studio Ghibli</p>	<p>くらしの道具</p> <p>2月1日(土)～3月2日(日)</p>  <p>洗濯板</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1(土) 岐阜県博物館交流企画講演会「敗者の行方 豊臣から徳川へ」 8(土) さんちゃんのお食事会 9(日) 館長講座「牛肉が食卓に届くまで」 	<ul style="list-style-type: none"> 1(土) 学芸員のフィールドさんぽ「あしものコケ」 // 身近な冬鳥を観察しよう
3		<p>三重県埋蔵文化財センター</p> <h3>埋蔵文化財発掘調査速報展</h3> <p>3月8日(土)～4月20日(日)</p>  <p>津城跡から出土した猫の置物</p>		

企画展等の関連イベントの詳細情報は、当館ホームページでご確認ください。
※このほかにも企画展関連イベント等を開催する予定です。
また、企業や団体からの協賛をいただき、基本展示室の観覧が無料となり、各種イベントが盛りだくさんの「コーポレーション・デー」も開催します(不定期)。
開催日時等、最新の情報は、当館のホームページや SNS でご案内いたします。

さまざまな活動のご案内

●…当日受付 ●…事前申込


講座など

- **基本展示スポットガイド** ●(4月をのぞく毎月)
数ある展示コーナーの中から、学芸員のおすすめ展示を解説します。
6/8:山のくらし | 12/21:伊勢湾の鳥
8/10:大杉谷と大台ヶ原の植物 | 2/8:伊勢みやげ
10/12:中世伊勢の海運
14時～(30分程度)
※参加は無料ですが、基本展示室の観覧券が必要です。
- **学芸員フリートーク** ●(3月をのぞく毎月)
学芸員が知っているあんなこと、こんなこと。色々なお話をします。
5/11:真珠あれこれ | 7/13:石の形や模様はいろいろ
9/14:標本にまつわるエトセトラ
11/9:ミュージアムフィールドのコケ
1/11:三重の仏像 鎌倉時代以降
13時30分～14時30分 定員:80名 対象:小学生以上
- **さんちゃんのお食事会** ●(12月を除く毎月)
オアシソウワウのさんちゃんがエサを食べるところを観察しよう。
日程:第2土曜日 11時～(15分程度)
- **わくわくワークショップ** ●
どなたでも参加できるワークショップを行います。
日程:4/21,5/5,6/16,7/21,9/15,10/20,11/17
13時30分～14時30分
- **館長講座ワークショップ**
「ウシとライオンはどこが違う？」●
写真カードを用いて、色々な動物の仲間分けを行います。その作業を通して、ウシなどの反芻動物の特徴を調べます。
日程:5/12,11/10 定員:20名 対象:小学生以下

- **館長講座「宇宙からわが街を見てみよう」** ●
Google Mapを高解像度の衛星写真を提供しています。これを利用して、街の様子や世界の色々な場所を宇宙から見てみます。また、リモートセンシングやGPSの仕組みなども解説します。
日程:7/14,1/12 定員:80名 対象:一般
- **館長講座「牛肉が食卓に届くまで」** ●
松阪牛に代表される牛肉の生産から流通までの過程や、ウシなどの反芻動物の特徴などについて解説します。
日程:9/15,3/9 定員:80名 対象:一般
- **標本の名前を調べてみよう(令和6年度同定会)** ●
標本を持ち寄って専門家とともに、標本の名前を調べます。
日程:8/18 10時～15時 対象:小学生以上
- **三重の自然史研究を支える次世代育成講座(地学)** ●
三重の自然史研究を支える人材育成を目的とした、地学(地質、岩石・鉱物)に関する連続講座です。
日程:11/24,12/1(2回連続講座) 定員:10名 対象:中学生以上
- **正月かざりをつくろう** ●
三重県には色々な地域独自の正月かざりがあり、正月かざりづくりの体験をとおして、その意味や地域の特徴などについて学びます。
日程:12/22 定員:14名 対象:小学3年生以上
※別途材料費等必要。

フィールドワーク

- **学芸員のフィールドさんぽ** ●
学芸員と一緒にミュージアムフィールドを歩く、気軽な観察会です。
4/6:サクラと新緑の林 10/5:石棺・道標・石材
5/4:春の原っぱ 11/2:ドングリと秋の生きもの
6/1:初夏の昆虫たち 3/1:あしものコケ
定員:10名 対象:どなたでも
- **文化財探訪「鈴鹿市三日月をたずねて」** ●
県内の旧跡などをたずね、三重の歴史や文化にふれよう。
日程:10/20 定員:20名 対象:中学生以上

- **身近な冬鳥を観察しよう** ●
三重県総合博物館周辺の池や安濃川河口にやってくる冬鳥を観察します。
日程:11/30,3/1 定員:20名 対象:どなたでも
- 【定員・申込み方法について】**
当日受付:開始時間までに所定の場所へお集まりください。定員に達し次第、締切りといたします。
事前申込:開催日の2か月前から3週間前(必着)の期間に往復はがきまたは電子申請でお申込みください。
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>
なお、右記のQRコードからもアクセスできます。
○1つの行事につき1通の申込みが必要です。代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢をご記入ください。
※小学生以下の参加は保護者同伴
○応募者多数の場合、抽選となります。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。
○1件(組)あたりのお申込み人数は4名までとし、これを抽選単位とします。(「正月かざり」は2名まで)
○各イベントは、悪天候などにより中止することがあります。当日参加のイベント実施の可否についてはホームページをご覧ください。お問い合わせは、MieMuへお問い合わせください。
○申込みが定員に満たない場合、募集期間終了後、追加募集を行う場合があります。実施の場合はホームページでご案内します。またはMieMuへお問い合わせください。
- 【お問い合わせ】** 三重県総合博物館(MieMu)
三重県津市一身上津部田 3060 〒514-0061
tel 059-228-2283 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

【岐阜県博物館交流企画】岐阜県博物館とMieMuとの連携企画として、岐阜県博物館の学芸員による講演会を実施します。

講演会 事前申込 定員:80名 対象:どなたでも
3/1(土) 「敗者の行方 豊臣から徳川へ」
講師:山田昭彦 学芸員(岐阜県博物館)

※MieMuからも学芸員が岐阜県博物館に出かけて講演会を行います。参加方法は岐阜県博物館にお問い合わせください。
講演会 ● 6/23(日)「三重の円空 -志摩地方に残る絵画作品を中心に-」
(瀧川和也 学芸員)